

# ふるさと公園応援隊 かわらばん

第 157 号

(初刊：2011 年 11 月 6 日)

発行日：2024 年 11 月 10 日

発行元：ふるさと公園応援隊

編集責任者：深澤 満

## やっと秋が到来して…(^'^(

### 10 月の定例作業日(10/29)は

ドンヨリ空模様で、やや冷たい北風が吹いておりましたが、作業終了までは雨に降られずに済みました。

当日の参加者は総勢 14 名。林内班 7 名は B-1 区域での下草刈りなど実施。湿地班(通常のゴミ班) 7 名は、湿地のセイタカアワダチソウの除去作業を実施。導水管から中央部は湿り気があり、比較的ぬきやすかったです。縁辺部(入り口の誘導路付近)は乾燥しており抜けず、田中さんが鎌で刈り取りをしました。作業コースは、K-L-j-ロ-i-j-L-K。なお、事前に K-F-G の巡回も行いました。



[10/29 集合写真]

まずは湿地班の**田中さん**からの報告・感想です。

『今日は雨の予想ながら午前中は曇りで、11 時の終了時刻まで雨にあたることはなかった。本日の「ゴミ班」は総勢 7 人(男 2 名+女 5 名)であったが、ゴミの収集には当たらず、

湿地周辺に繁茂している「セイタカアワダチソウ」の除去を行った。

「セイタカアワダチソウ」は北アメリカ原産の外来種で増殖力が非常に強いとのこと。黄色の花は今が盛りで、遠くから見ると菜の花の群生に見え、きれいだ。

主に湿地や河川敷に群生し、密集しすぎると自家毒にていずれは自滅するらしいが、花が終わると種子を周囲に撒き散らかして繁茂していくとのこと。ブタクサのような花粉伝搬ではない。

何分にも手で引っこ抜く原始的作業で、女性たちの腱鞘炎を心配しながらも、頑張つて湿地全体の約半分は除去できたようだ。

私は幸い鎌を持参していたので、湿地周辺の樹林地帯に広がった「セイタカアワダチソウ」の刈込みを担当した。

巻き付く蜘蛛の巣には往生したが…。』



[10/29 湿地班集合]

次いで、湿地班の**フミリンさん**からの報告・感想です。

『10 月 26 日の「植物観察会」講師の平城さんのアドバイスを受けて、貴重な湿地植物の生息保存のため、今日はゴミ拾いを後回しにして、群生している「セイタカアワダチソウ」の除去作業に専念することにした。

田中さんは湿地手前の入り口付近の除去作業、他の 6 人は湿地に広がる「セイタカアワダチソウ」の除去に奮闘した。

地面に湿り気があるところは比較的容易に引き抜けるが、乾燥した上に太い茎をもつものは全力でも引き抜くことが出来なくて、のこぎりやハサミで切るしかなかった。

途中休憩を 1 度挟んで、懸命に除去に集中した！

全面的とはいかなかったがほぼ 6 割超を駆除することが出来た。作業を終了して、高いところから振り返って湿地を眺めると、手前の半分部分はほとんどなくなり、先の方のみ残った形になり、この人数であと 1 日頑張れば一掃できそうである。

明日、腕の痛みはどうか？と気にしながら苦労した分皆で爽快感に浸ることが出

来た。貴重な湿地植物を絶やさずに、季節ごとに観察できるようにってほしいと期待している。ちなみにセイタカアワダチソウの花から 30 cm を採り、乾燥したうえで布袋に入れて入浴の際に湯船に浮かべると、お肌すべすべ、身体も温まるという薬効があるという。邪魔者だけではないそうだ！

公園内の園路沿いの草刈りが進んだところに珍しい植物があちらこちらに芽吹きこの公園の素晴らしさに折々気づかされている。

市の公園課主催の「カルチャーパークを考える未来会議」に、意思を同じくする強力な若いメンバーが加わり、私たち「ふるさと公園応援隊」の「未来の子ども達に武蔵野の雑木林の風情を残す所沢市民の公園に」という思いが繋がっていくことに安堵しているところです。』



[10/29 湿地作業前]



[10/29 湿地作業後]

次いで林内班の**三浦さん**からの報告・感想です。『この日の朝の気温は 18 度と暑さに

慣れた身体には一寸肌寒く感じた。それに予報は雨。雲が低く垂れており今にも降りそうなので出かけるべきか否か逡巡してしまった。

何時もより遅く家をでて自転車のスピードをあげて駆けつけたが誰もおらず一瞬面食らってしまった。私の勘違い（ボケ）で活動日を間違えたか？と思ったくらい。何時も一番乗りの深澤代表は早くに着いて園内を巡回していたと知ったのは後のこと。この日珍しく多くが時間間際近くにまとまって来たので私が勝手に心配しただけで結果的に 14 人が集まってくれ、先憂後楽だったと知り安堵。

アリバイ写真、体操で身体をほぐした後は各自の判断で林内班 7 人、ゴミ収集班 7 人に分かれて行動開始した。

林内班の作業地は前回の続きのボーイスカウト隣接地と決め現地に向かった。着いてみると広範囲にわたるエリアが奥まで綺麗に刈り払いが済んでおり残すところ僅かになっていた。この日の機動力は刈り払い機運転 3 人、人力 4 人の全部で 7 人態勢。作業分担と場所は刈り払い機運転の一人は前回の続きで僅かに残っている場所の刈り払い、残る 2 人は原っぱ広場に面した道路脇の U 字溝の両側の刈り払いを担当し、人力組 4 人は太丸や鎌を携えて下刈りや落下枝拾いに従事してもらっ

た。

作業開始前に深澤代表から林内班の落下枝拾いの際長い枝があったら処分しないで残しておくようにとの話があった。何でも現在進められている『バイオネスト』設置のグループが『ツリーハウス』をつくりたいとの事。そのため我々も協力するよう皆さんに伝え作業に着手。天気は曇りで一寸肌寒いくらいで作業日和と思っていたが、休憩時間の時皆の様子をみると結構汗をかいていたり少し疲れ気味の人もいたようだ。休憩時にはこの日も K K 両女史差し入れの甘藷と甘いお菓子に「美味し〜い」の音が何度も上がった位だから、皆さん案外疲れたのだろう。

無理も無い 10 月になって尚 30 度近い天気があったり、秋なのに秋らしからぬ不順な天気にさぞかし体調管理に気を遣われたのではないだろうか。そうした事情に付度した訳ではないが、作業終了をいつもより少し早めに切り上げ旧管理事務所に戻った。未だゴミ収集班は戻っていなかった。深澤代表が「セイタカアワダチソウの除去」だと言っていたのでその為だと思ったが、程なく戻り想像以上に大変だったと言っていた。帰路湿地帯の様子を見るとセイタカアワダチソウの群落が見えた。これまで気が付かなかったが今年は特に目立って多い

と感じがしていたので湿地帯も例外では無かったようだ。

環境省が生態系被害防止外来種リストに載せるほど旺盛な繁殖力を持つ植物で、種子と地下茎の両方で増えるようで、調べると根と地下茎からアレロパシー物質（他の植物の種子発芽や成長を妨げる物質）出し他の植物の成長を妨げる為何年もしないうちに在来種の植物を駆逐してしまう恐ろしい植物のようです。これまでオオブタクサの駆除を優先してきただけにさらなる難敵に如何に対処すべきか悩ましいところである。』



[10/29 林内班集合]



[10/29 林内作業-1]



[10/29 林内作業 2]



[10/29 色づき始めた木々]



[10/29 林内のゴミ]



[10/29 弁当で持ち寄って]

作業終了後の昼食会は、相変わらず、男性参加者がミッチャン一人で女性陣に圧倒されました。最初は旧管理棟に近いデイキャンプ場のテーブルで始めましたが、ポツリと雨が当たったので、急遽東屋に移動…。ところが雨はその後降りませんでしたねー。

自転車組にはラッキー！

(ミッチャン記)

~~~~~

### 10月の第二業日(10/15)は、

夜明け直前まで少し曇っていましたが、夜明けと共に青空が広がり、秋晴れになりました。気温的には夏日となり、シッカリと汗をかいた作業日でした。

当日の参加者は8名。林内班は6+1名で、B-1区域での下草刈りなどを実施。



[10/15 集合写真]

林内班の**板倉さん**からの報告です。『当日は雲ひとつない快晴、ボランティア日和の絶好のお天気でした。全体の参加人数は、前回(9/24)の22名から9名と激減しました。林内班についても前回の14名から7名と半減しましたが、まさに「少数精鋭！」全員の頑張りで満足できる成果をあげることができました。

今回の作業は前回の続きです。活動エリアは「ボーイスカウトの活動予定地の西側」で、林の奥地に向かって攻めました。刈払い機は1台だけでしたが、6人の頑張りで林の前面から奥にかけて伸び放題となった草を刈りまくり、何とか奥まで見通せるようになりました。

最後に、村松さんから貴重な提案がありましたので紹介します。「刈り払い機・チェーンソーなどの機材のメンテナンス」についての提案です。カルチャーパーク事務局の了解を得ることができたら、村松さんご本人がメンテナンスをやりたいとのこと。活動日とは別に、「機材メンテナンスデー」を設定し、メンテナンスを実施できるようにするとのことです。』

村松さんからのありがたい提案もありました。よろしくお祈りします。



[10/15 林内班集合]

次いでゴミ班の報告です。  
ゴミ班は2名で、東西道路～東京狭山線～サッカー場～湿地～新園路～旧管理棟と回りました。コース記号は、イ-K- L-l-F-G-O-P' -a-a' -k-i-ロ-i-j-L-K となります。  
ゴミはわずかで、主に湿地のセイタカアワダチソウの除去作業を実施しましたが、2人ではなかなか進みませんでした。なお、湿地はわずかな湿り気がありました。



[10/15 ゴミ班集合]



[10/15 湿地作業前]



[10/15 湿地作業後]



## 11月の作業予定

定例作業日:11月26日(火)

第二作業日:11月12日(火)

作業時間\_9:30~11:30

\* 作業内容:

ゴミ拾い・林内作業

\* 持ち物: 手袋、タオル、雨具、飲み物、念のため、保険証・お薬手帳など

荒天など天候不順の場合は、事前に中止連絡しますが、微妙な場合現地にて判断します。

判断に迷うときは、深澤まで  
[090-8014-3310]連絡下さい。  
~~~~~

**11/26は、作業終了後、**

**現地昼食会を実施します**

**参加予定者は弁当持参  
差し入れ歓迎!**

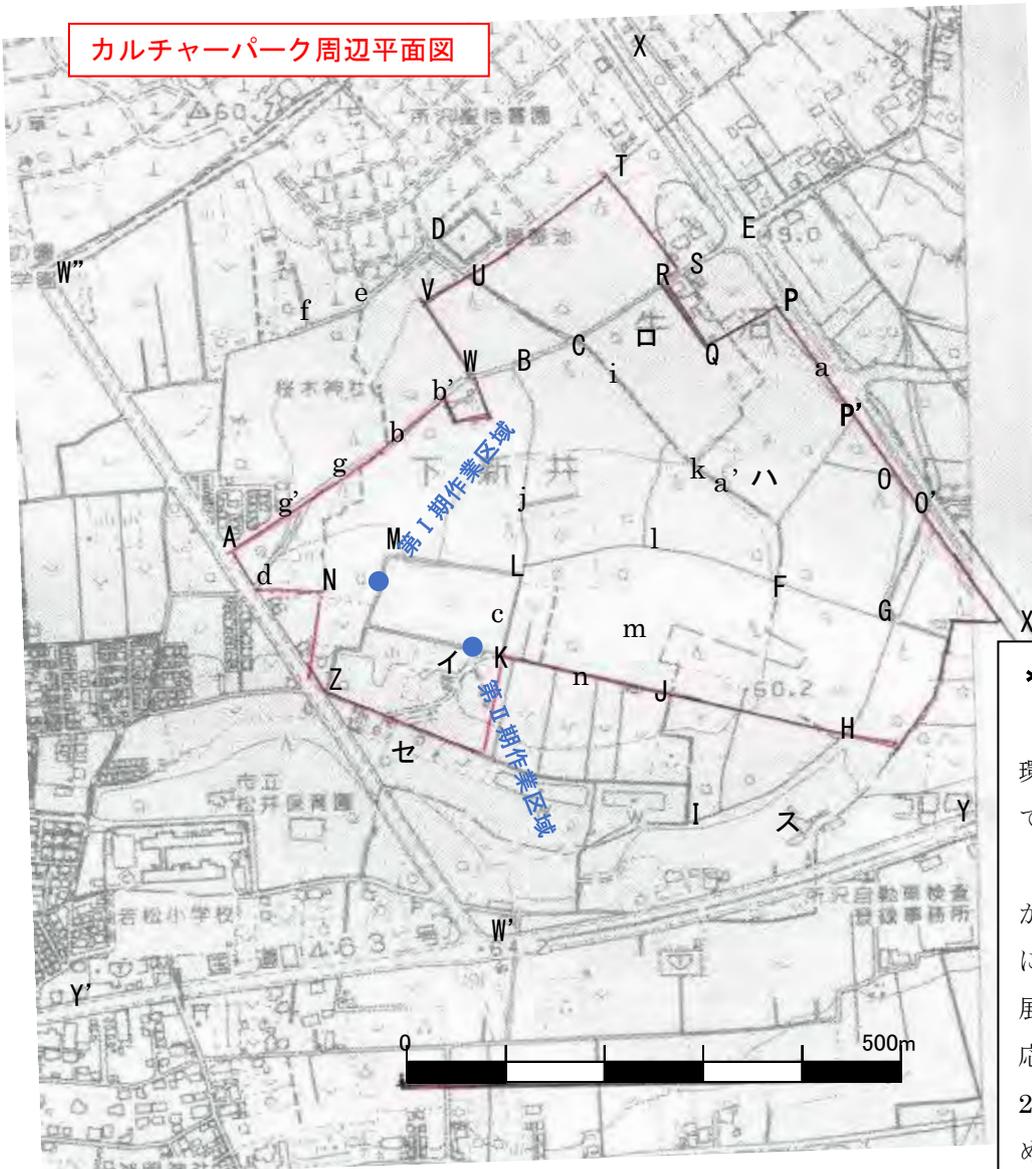
### 2024年度の行動予定日-

12/12(木)、 12/24(火)現地作業なし 応援隊きらくな懇談会+忘年会  
1/14(火) 1/28(火:定例)、2/11(火・休) 2/25(火:定例)、  
3/11(火) 3/25(火:定例)、3/中~下旬:応援隊総会的懇談会

### コロナ対策の基本について

WHOは「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を終了しましたが、同時に「ウイルスは命を奪い続け、変異も続けている。宣言の終了をもって各国は国民に、新型コロナは心配ないというメッセージを送ってはいけません」と述べています。ということで従来の予防策に準じた行動を基本とします。 **その他の感染症にも注意しましょう。**

カルチャーパーク周辺平面図



カルチャーパーク周辺 名称

地点名	イ	現在のデイキャンプ場
	ロ	湿地
	ハ	現在のサッカー場
	セ	特養、グループホーム
	ス	産 廃
	E	交差点「開発」
	W'	交差点「牛沼」
通り名	X-E-X'	県道東京狭山線
	W'' -A-W'	市道 カルチャーパーク通り
	Y-W' -Y'	国道
園内通り名 (仮称の たたき台です)	A-B-C-E	桜木神社通り
	D-C	霊園通り
	C-F	サッカー場通り
	B-L-K	中央通り
	L-F-G	東西通り(L-F:フラワー通り)
	G-H	東通り
	K-J-I	農道
	I-H	産廃裏通り

園内の通りの名称は仮称(たたき台)です。  
皆さんからの御意見をお寄せください。

### \*この「応援隊」は

所沢市民大学 18 期「都市の環境」講座の受講生が呼びかけて始められました。

“所沢カルチャーパーク”が、「平成 11 年度基本構想」にのっとった公園として発展・整備されるように見守り、応援してゆくことを目指し、2011 年 10 月より活動をはじめました。

### 定例作業は毎月最終火曜日

まずはゴミ拾いと散策から取り組んできましたが、現在は「森の再生」をも念頭に置き、作業内容も広がっています。

どなたでも参加できますのでお気軽にどうぞ。

**追加の予備作業日については、「かわらばん」でお知らせします。**

### \*お願い

「かわらばん」の発行は、定例作業日(毎月最終火曜日)の翌月 10 日となっています。

参加された皆様、写真や感想メモのあるかたは、**翌月の 5 日**までに深澤まで送ってください。よろしく。